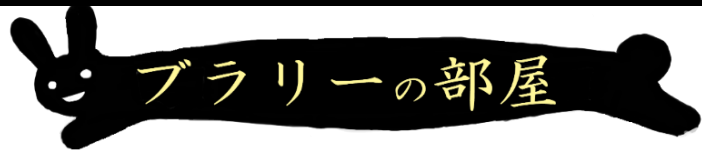




図 書 館 通 信

発行日 / 令和 8 年 7 月 1 日

編集発行 / 旭川市中央図書館
(旭川市常磐公園 0166-22-4174)https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/central_library/index.html第8回 ゲスト
中央図書館長

中央図書館館長として着任された、菅原大(すがわら だい)館長にお話を伺いました。

Q.図書館にまつわる思い出や、お気に入りの作家・作品などがありますか？

A.私は札幌市の出身で、就職準備のため中央図書館に立ち寄ったのが、初めての訪問でした。それから30年が経ち、こうして図書館で勤務できることを大変嬉しく思っています。

中学1年生の時、担任の先生から借りた北杜夫の『どくどくマンボウ航海記』に触れてから読書が好きになり、学生時代は通学時間などを利用して本を開いていました。しかし、社会人になってからは、パソコンやスマートフォンで手軽にインターネットを見られるようになったこともあり、読書からも図書館からも足が遠ざかっていました。

この4月からは本に触れやすい環境になったこともあり、以前途中まで読んでいた宮本輝の『流転の海』(全9部)を再び手に取るなど、久しぶりに読書を楽しんでいます。



Q.どのような図書館づくりを目指していますか？

A.中高生の皆さんが自習のために来館されても、なかなか実際の読書に繋がっていないのが現状です。読書は気分転換になるだけでなく、将来の進路選択や視野を広げる上でも大いに役立つものです。

これからは、特に若い世代の方々にも読書に関心を持っていただけるよう、スマホやタブレットでも読める電子書籍のPRを進めるなど、これまで読書の習慣がなかった方々にも気軽に利用していただけるような図書館づくりを目指してまいります。



Q.最後に図書館通信の読書の方にメッセージをお願いします。

A.日頃より図書館をご利用いただき、誠にありがとうございます。

図書館の運営には、ボランティア団体による絵本の読み聞かせをはじめ、目の不自由な方への音訳や障がいなどで図書館に行くことのできない方への宅配、布の絵本の制作、さらには個人や企業の皆様からの図書の寄贈など、多くの温かいご支援・ご協力をいただいております。深く感謝申し上げます。

これからも職員一同、多くの市民の皆様にご快適に、そして楽しく利用していただけるよう努めてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ブラリーがいく!



バリアフリーな資料を集めた

りんごのたな



今回は、旭川市中央図書館にある『りんごのたな』を紹介합니다。大きな文字や、記号を使うなど、様々なニーズに合わせて読みやすく工夫されている本を並べています。子どもだけでなく大人の方にもぜひご覧いただきたい棚です。

「読書バリアフリー法」とは？

障害の有無に関わらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。さまざまな障害のある方が、利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるようにすることを目指しています。

出典：文部科学省ホームページ (<https://www.mext.go.jp/>)



りんごのたなの本

色々な種類の中から一部をご紹介します

大活字本 (大きな文字の本)

通常よりも、大きな文字で書かれている本です。子ども向けの本もあります。



一般書の大活字本は別の棚にあるよ

ゆきほん

しかけ絵本 (絵や写真が動く)

ページをめくると、絵や写真が動く、しかけ絵本です。

点字つきさわる絵本



点字だけでなく、絵の部分にもさわるとわかるように盛り上がり印刷がされている絵本です。



ラビック

旭川市中央図書館では読書バリアフリーの取り組みのひとつとして『りんごのたな』を設置しているよ。



ブラリー

本の背表紙にりんごのシールをつけて目印にしているよ!



LLブック (わかりやすい本)

やさしくわかりやすい言葉で書かれている本です。絵やピクトグラム(絵記号)、写真を使って読みやすいように工夫されています。

声で聞ける絵本



専用のアプリを使用することで、お話を声でも楽しむことができます。

他にもあります 読書バリアフリーにおけた資料・サービス

拡大読書器

本の紙面を拡大したり、白黒反転することで、読みやすくする機器です。

中央図書館・東光図書館で利用できます。

布の絵本

厚手の布にフェルト・ボタン・マジックテープなどを使って、作られている絵本です。さわったり遊びながらお話を楽しむことができます。(館内利用のみ)

朗読 CD など

視聴覚コーナーには音楽だけでなく、小説を朗読したものや落語など、耳で楽しめる CD なども貸出しています。

旭川市電子図書館

スマホやパソコンで電子書籍を利用できます。読み上げ機能つきのものや、小説を朗読した『オーディオブック』もあります。(図書館の利用カードをお持ちの方はホームページから利用できます。)

電子図書館はこちらから



自動車文庫

図書館から遠い地域にお住まいの方に、2台の移動図書館車が月1回、市内を巡回しています。

お問合わせが必要なサービス

●対面朗読 ●録音図書の貸出 ●宅配サービス など

サービスを受けるためには条件があります。ご希望される方は、旭川市中央図書館 電話:0166-22-4174 までお問合せください。

図書館で聞いてみた

あんな本
こんな本



2026 夏

わすれないでね

ジーン・ウィリス 文 ラケル・カタリナ 絵 小学館

5歳の時の事は覚えているのに、5分前の事は覚えていないキャサリンおばあちゃん。孫のジョージの名前も忘れてしまいますが、ジョージは気にしません。全て忘れてしまっても、心の奥底ではジョージの事を大切な存在であり愛してくれている事がわかるから。いろいろなものが失われても感情の記憶はずっと残っています。

すべてを忘れてしまった時に、最後に残るものは？ 認知症の家族の実話にもとづく物語。5歳の孫ジョージのおばあちゃんへの接し方がすばらしい。大人にもおすすめの絵本です。

U 司書

クマにあったらどうするか

語り手 姉崎等 聞き書き 片山龍峯 筑摩書房

登山をしてみたい、しかし何といたてもクマは怖い。そんなときに書店で見かけた『クマが怖い』という言葉が怖い』という帯に惹かれました。

インタビュー形式で進む本書では経験に基づく豊富なクマの知識はもちろん、山での猟生活やアイヌ文化の話など見どころが満載です。

クマにあったらどうするか。出会わないのがお互いにベストですが、万が一のときには実際に生き残った人たちは何をしたのか。噂の死んだふりは本当に効くのか。どんな行動が一番危ないのか。ヒトもクマも日々変化している中、同じ北海道に住む生き物同士として、可愛いだけでも怖いだけでもないありのままのクマを知る入門にオススメの1冊です。

S 司書

椅子づくり百年物語

宮本 茂紀 著 OM出版

鹿鳴館の椅子も張り替えた一流熟練椅子職人による椅子エッセイです。見た目のデザインだけでなく中身の構造がどんなふうになるのか。欧州の椅子と日本の椅子のちがいは、

新幹線の椅子を座り比べた話。愛するあまり口ココ調の椅子だけしか作らないある職人の話。時代の名品を修理して初めて理解できるその精神性。冒頭の発光するソファ作りからはじまり、工業化の功罪といった社会全体の話にまで多彩に展開する椅子談義は、読めば読むほどますますあなたを椅子マニアにする興味深い一冊。

T 司書

気になる本があればお気軽にお問合せください！



『Riverside Nostalgia』

酔いどれ天使との出遭い? (前編)

一説によると、日本に「銀座」と名の付く場所は300か所以上あると言われています。旭川の銀座商店街もその一つ。



昼は商店街としての賑わいを見せ、夜はネオン街としての賑わいを見せます。

そんな銀座商店街で「彼」と出会ったのはちょうど10年前の夜のこと。

自転車での帰宅途中、商店街を横切った僕は同様に自転車に乗ったやや高齢のご機嫌なご様子の男性とすれ違いました。直後、背後で「ガシャン」という明らかに何か起こった音。振り向くと…転んでいました。

自転車を停めて男性に近づくとやはりお酒の香りが…

慌てて自分とその男性の自転車を車道の邪魔にならない場所に避けます。

僕「大丈夫ですか？」

男「だい…じょうび…タクシー」

僕「タクシー? タクシー呼びますか？」

そんなわけで男性には休んでもらい、少し離れてタクシー会社に電話しました。

男性の方を振り返ると、男性と同じくらいの年代の

やはりご機嫌な女性が男性にニコニコと話しかけています。

僕「お知り合いですか？」

女「ううん」

…通りすがりのようです。



そしてタクシー到着。男性をタクシーに乗せ、運転手さんに説明します。

男性に住所を言ってもらおうとするも、睡魔が襲ってきている様子ですが

住所が書かれた何かのカードを出してくれたのでそれを運転手さんに見せ確認します。

僕「ここ(住所)に行ってもらえばいいですね？」

男「…(首を横に振る)…降りる」

…え？



男「(一万円札を僕に差し出し)…コレ、運転手さん」

僕「僕は運転手じゃないですよ。」

男「…飲む」

そして男性はまるでミツコピナマケモノのような優雅さと確実さで

タクシーから降りてしまったので、運転手さんにはお詫びを言って帰っていただきました。

するとそんな男性の元にまたさっきの女性が。

男性は、今度は二万円を差し出しています。

どうやら僕と女性に一万円ずつ、という想いのようです。

こういう時って、酔いが醒めてから「財布から二万円がなくなった! 盗られた!」

というパターンも考えられるので返そうと思い、女性にもそれを促そうと見やると

…いない!?

見ると、ちょっと離れた、いわゆる飲食店ビルの中に入っていました。

できれば彼女があのお金を使う前に説得したい!

長くなってすみません…次回後編です。

彼女に追いつくまでも一苦勞だったんです。

